

学術情報総合センター・杉本キャンパス 利用者アンケート（～開館時間を中心とした～）結果概要

a. 目的

利用者（主に学生）のニーズについて開館時間を中心に調査し、今後のサービス改善の検討材料とする。

b. 調査対象

- 学内者(教員・学生・職員等)
- 学外者(登録市民・卒業生等)

c. 調査期間

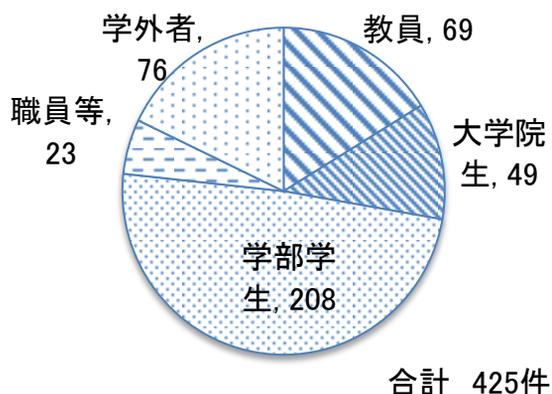
平成25年7月3日～8月8日

d. 調査方法

- 全学ポータル(学内者)
- アンケート用紙(学内者・学外者)

e. 回答数

- 学内者: 349件
うちポータルによる回答: 151件
- 学外者: 76件



<学内者の回答>

来館頻度

授業のある期間とない期間で、週1回以上センターを利用するという回答の割合を比較すると、学部学生は94%→60%と、授業のない時期はセンターをあまり利用しない傾向がみられるが、教員・大学院生についてはそれほどの差はみられない。

頻度	教員		大学院生		学部学生	
	授業あり	授業なし	授業あり	授業なし	授業あり	授業なし
ほぼ毎日	7%	5%	23%	19%	26%	15%
週3～4回	10%	12%	35%	29%	36%	16%
週1～2回	35%	29%	23%	29%	32%	29%
月1～2回	28%	28%	13%	17%	3%	20%
年数回	16%	20%	4%	4%	1%	8%
試験期のみ	0%	-	0%	-	2%	-
来館しない	3%	6%	2%	2%	0%	12%

利用時間帯(複数回答可)

授業のあるなしにかかわらず平日13～17時によく利用すると答えた回答者が最も多い。学生については、授業のない期間、平日17～20時に利用するという回答が減っているが、それ以外の時間帯は大きな違いはみられない。

時間帯	教員		大学院生		学部学生	
	授業あり	授業なし	授業あり	授業なし	授業あり	授業なし
平日9～12時	23%	20%	47%	51%	26%	30%
平日12～13時	19%	14%	37%	39%	28%	31%
平日13～17時	64%	64%	65%	71%	68%	62%
平日17～20時	41%	36%	59%	47%	57%	33%
平日20時～	16%	17%	39%	39%	32%	17%
土曜10～12時	0%	4%	18%	24%	20%	22%
土曜12～15時	9%	7%	22%	29%	31%	29%
土曜15～17時	16%	19%	22%	35%	33%	29%
土曜17～19時	9%	13%	24%	29%	29%	18%
日曜10～12時	1%	—	18%	—	13%	—
日曜12～15時	3%	—	24%	—	25%	—
日曜15～17時	6%	—	29%	—	26%	—

※複数回答可であるため、数値は回答者数に対する%

利用目的(複数回答可)

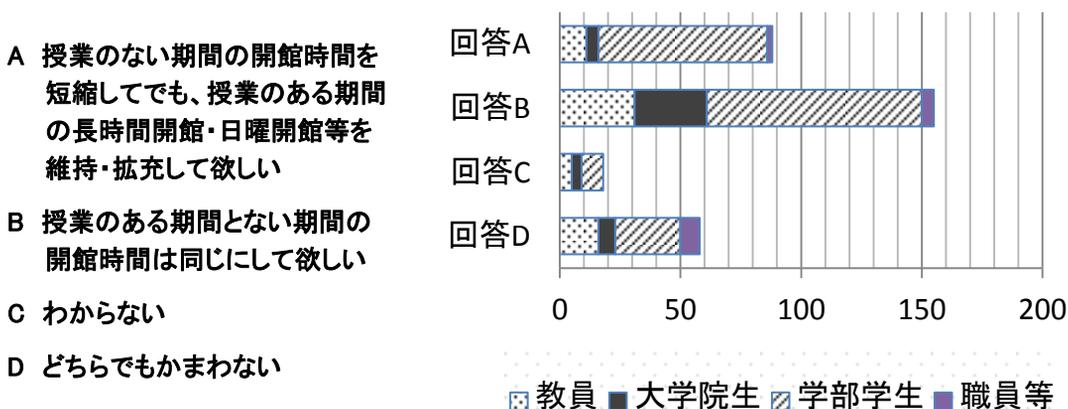
図書・雑誌や電子ジャーナルやデータベースの利用を目的とする利用者が教員・学生の区別を問わず最も多い。また学部学生は閲覧席やパソコンの利用も多い。

目的	教員	大学院生	学部学生
図書・雑誌・AV資料などセンターの資料利用	80%	80%	70%
蔵書検索(OPAC)	17%	35%	31%
電子ジャーナル・データベースの利用	12%	22%	6%
閲覧席の利用	17%	29%	55%
グループ学習	1%	4%	23%
サークル活動	0%	0%	10%
ラーニングコモンスの利用	1%	2%	22%
パソコン利用	1%	24%	46%
インターネット接続サービス利用(無線LAN・有線LAN)	4%	20%	18%
研究室貸出図書の取り寄せ	14%	20%	2%
他大学図書館等の利用申込(訪問利用、複写物・図書の取寄せ)	35%	18%	0%
レファレンスサービス(職員への利用相談)の利用	7%	6%	1%
その他	12%	12%	7%

※複数回答可であるため、数値は回答者数に対する%

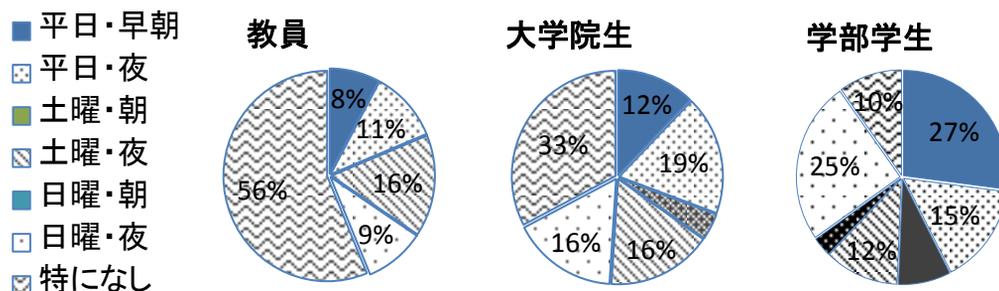
開館時間の延長短縮について

回答者数の半数近くが授業のある期間とない期間の開館時間は同じにして欲しい(=開館時間の短縮を望まない)と回答したが、学部学生の中には休業期間中の時間短縮をしてでも授業のある期間の開館時間拡充を望むという回答も少なくない。



(時間延長を希望する時間帯)

教員・大学院生・学部学生とそれぞれ異なるが、学部学生については授業の始まる前の早朝開館や日曜の夜の時間延長を希望する傾向がみられる。



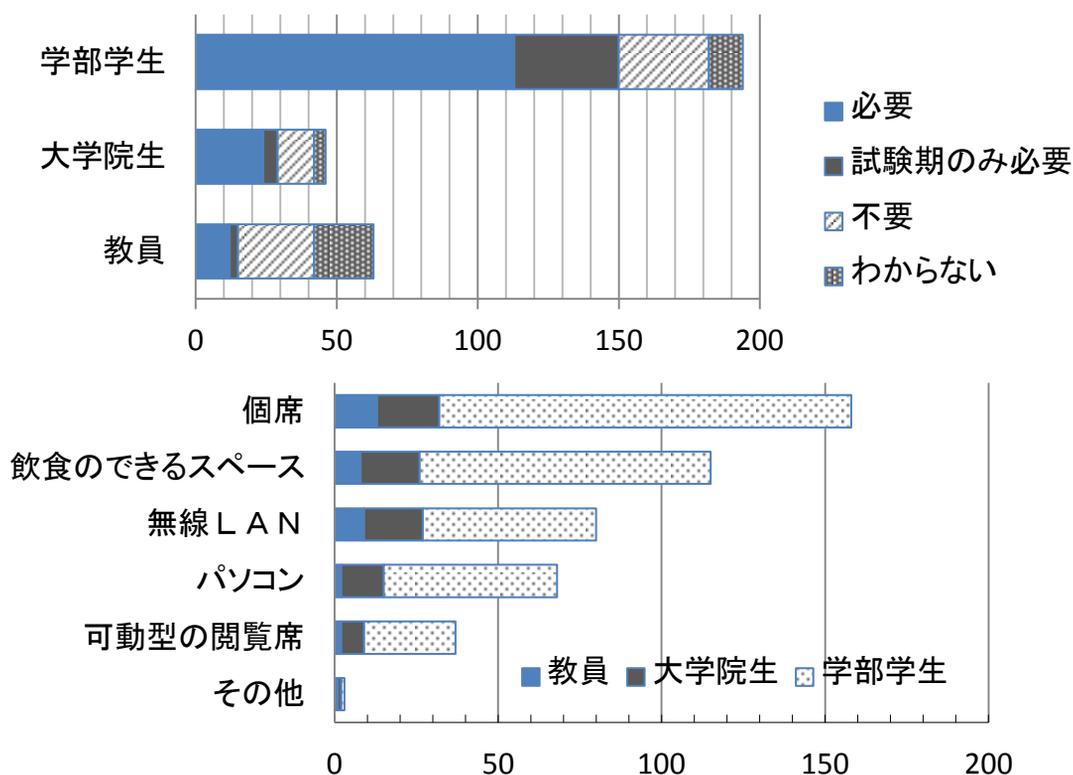
(時間短縮に支障のある時間帯)

授業のない期間に時間短縮をして支障のある時間帯については、教員に「特になし」という回答が多かったほかは、大学院生・学部学生とも、平日・土曜の朝・夜に比較的まんべんなく散らばった。

選択項目	教員		大学院生		学部学生	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
平日 9～10時	8	11.0%	8	11.9%	39	15.7%
平日20～22時	19	26.0%	15	22.4%	51	20.6%
土曜 12時以前	9	12.3%	15	22.4%	50	20.2%
土曜17～19時	9	12.3%	16	23.9%	63	25.4%
特になし	28	38.4%	13	19.4%	45	18.1%

24時間自習室について

大学院生・学部学生の多くが必要と回答したが、教員には不要とする意見が多い。必要な設備を問う質問では、パソコンや無線LANの設備より飲食スペースを必要とする回答が多かった。



<学外者の回答>

来館頻度

週に1度以上来館するという回答が60%あった。

利用時間帯(複数回答可)

よく利用する時間帯は全体的にまんべんなく分布している。

利用目的(複数回答可)

資料の利用が最も多く、半数を超える。

開館時間の延長・短縮について

年間を通じて開館時間は同じにして欲しいという回答が半数近くある一方、利用の少ない期間を時間短縮して、利用の多い期間の時間延長・開館を求める回答も30%あった。

時間延長希望や短縮すると支障のある時間帯の回答によると、平日・土曜日・日曜の区別なく、夜間の時間延長・開館時間維持の希望が多い。

<自由記述>

(開館時間について)

更なる時間延長や祝日開館を求める声のほか、利用の少ない時間帯の開館延長をするより、資料充実などに力を入れて欲しいなどの意見もみられた。

(24時間自習室について)

設置を求める声、設置は不要であるという意見、学習スペースとしてなら必ずしも学情センター内である必要はないという意見があった。

(開館時間以外)

館内の無線LANやPCルームの充実や、資料の充実のほか、利用者マナーの改善を求める声が多かった。

また施設については、空調についての不満が圧倒的に多かった。

<まとめ>

今回のアンケートの目的の一つには、授業のある期間と授業のない期間についての利用時間のニーズの違いがどの程度あるのかを明らかにし、授業のない期間の時間短縮によるコスト削減が可能かどうかを計ることであった。

結果としては、学部学生については授業のない期間の夕方以降の利用があまり多くないとはいえ、授業のない期間の時間短縮により試験期間等での開館時間の充実を求める学生より、授業のあるなしにかかわらず開館時間を同じにして欲しいという学生のほうが多く、特に大学院生については時間短縮には反対とする回答が目立った。

授業のある時期の開館時間の改善要望としては、以前のアンケートでの日曜開館や土曜の時間延長のように、それほど突出して多い意見はなかったが、学部学生を中心に、授業が始まる前の早朝開館を求める声が比較的強かった。

24時間自習室の設置を求める意見が多いが、教員からは24時間自習室に対する否定的な意見が多く見られた。

また必要な設備については無線LANやパソコンより、まず飲食スペースを上げる回答が多く、自習室というよりキャンパス内で22時以降に滞在できる場所を求めていると考えることもでき、必ずしも学習スペースとしてセンター内設置が必要とされているとは言えない。

開館時間のほかでは、資料の充実以外に、空調やマナーなど、快適な学習環境の維持を求める利用者が多かった。